

テッサ・モーリス・スズキ氏へのコメント

塩原良和

テッサ・モーリス・スズキ氏の基調講演によって提案された“Liquid Area Studies”という研究アプローチについて、主に以下のふたつのコメントをおこなった。

第一に、「流れ」と「渦」という人々の相互作用に注目することで「地域」の形成・再形成のあり方を捉えるというモーリス・スズキ氏の問題提起は、多言語・多文化状況に関する比較地域研究のあり方の模索、という本シンポジウムの問題意識にとってきわめて重要である。コメントではこうしたモーリス・スズキ氏の提案を評価したうえで、「流れ」や「渦」を同時代的に捉えるだけでなく、過去の「流れ」やその「沈澱」と、新しい「流れ」との相互作用にも注目する必要があるのではないかという問題提起をした。

第二に、モーリス・スズキ氏の基調講演での問題提起やこれまでの研究実践は、「定住者」として「中心」から眺めるのではない、地域研究者の立ち位置を提案しているように思う。コメントでは、こうしたモーリス・スズキ氏の議論を自分なりに展開し、「地域」を研究する研究者自身の立ち位置として「越境者」の視点が重要であり、それがグローバリゼーションの時代に活動する地域研究者の独自性になりうるのではないかという問題提起をした。

以上のようなコメントに対して、モーリス・スズキ氏をはじめとする多くの来場者からご質問やご意見をいただいたことに、改めて御礼申し上げたい。